

## 「嫁捨」解釈するための問 四十題

授業の前には傍線注釈し、調べた語を必ずノートの下段に記しておくれ。それがない場合、ノートチエック時には不合格になり、居残りノート作成をおこなうことになる。また、授業で進む予定の問を解答しておき、情報共有 time には解答の確認をして、全員正解を目指すこと。一人でもそれが出来ていないと全員正解は遠い。

※ 内は、傍線注釈時に挿入するヒントである。

問一、次の読み方を現代仮名遣いで記しなさい。

- (1)憂き (2)いたう (3)二重 (4)給び (5)夜 (6)嫗 (7)麓
- (8)入りて (9)下り来ぐ (10)逃げて来ぬ。 (11)家に来て
- (12)明かく (13)姥捨山 (14)来にける

問二、この作品のジャンルは？成立は何時代？

問三、「姫」って「男」のどういう人？

問四、傍線注釈

②問五、「若くより」って誰が若い？

③問六、「( )の妻の心、憂き」と多くて 現代語訳

③問七、「( )の姑の老いかがまりてゐたるを常ににくみつつ、」 傍線注釈

③問八、「姑」って誰のこと？本文から抜き出す。

③問九、「姑」って本当はどういう人を指す語？

④問十、主語を明示して傍線注釈

⑤※ 「( )のをばのために」は「おろかなること多く」の上に持つていて「( )の嫁に対する」と訳す。

⑤問十一、傍線注釈

⑤問十二、「おろかなること」例えば具体的にどうした？

⑥※ 「ふたり」…「へいた」

⑦問十三、「( )れ」何を指す？

⑦問十四、「( )の嫁」同じ人を以前に何と表記していた？

⑦問十五、「思ひ」の内容を抜き出す。

⑧問十六、傍線注釈

⑧問十七、「責め」主語は？

⑨問十八、主語を明示して傍線注釈

⑨問十九、「思ひ」の内容を抜き出す。

▼文法的説明（一単語以上だつたら品詞分解）

◎：指示に従い答える

※何もついていないものはヒント

※「品詞分解」：単語に分け、それぞれの単語を文法的に説明すること。

②a)係り結びの説明

② b)接続助詞を全て見つけて接続助詞の意味用法（もみじの助詞一覧表参照）を記す

③c)▼「憂き」と多くて

③d)格助詞はいくつある？

④g)▼「( )にてゐたり」

④f)▼「( )とくにもあらず」

④e)▼「言ひ聞かせければ」

④d)「( )重にてゐたり」

⑦ h)接続助詞を全て見つけて接続助詞の意味用法を記す

⑧j)敬語（2つ）の説明

⑧k)▼「捨て給びてよ」

⑨l)▼「責められわびて」

⑩m)▼「さしてむと」

